

24年度決算認定

第3回定例会
で
決まりました



石塚町長が決算を提出

決算認定の議案を提出するにあたり、町長から「24年度は国全体の債務残高の増加に加え、世界経済の減速による円高など、先行きの見えない状況下でスタートした。しかし、『みらいにずっとほこれるまち』の確かな実現に向け、次世代にしっかり引き継ぐことのできる、潤いと活力のあるまちづくりに果敢に取り組み、所期の目的を達成することができた。」との説明がありました。

なお、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、普通会計における健全化判断比率は健全であるとの報告がありました。

今回の議会には、平成24年度一般会計・各特別会計の決算認定議案が上程されました。決算特別委員会での審議後本会議において、一般会計を賛成14名、反対1名で、また、各特別会計については全会一致で可決、認定しました。

決算特別委員会で審査

～議員から143件の質疑～



決算特別委員会での審査の様子

各議員の質疑は7ページに記載

町側から議案の提出を受けた議会では、直ちに決算特別委員会を設置し、委員長に下野義子議員、副委員長に近藤浩議員を選出。議長、議会選出監査委員を除く14名により、3日間にわたって審査を行いました。

一般会計では、前年度と比較して歳入では約3億5、295万円（2・60%）の減、歳出では約3億8、187万円（2・91%）の減となっています。



起立採決の様子（本会議）

4～5ページに掲載しております。決算委員会質疑のピックアップを

一般会計については、次のとおり反対の討論が行われました。
(要約)

大坪 国広 議員

厚労省は要支援の高齢者を介護給付から外し、市町村の地域支援事業に丸投げする方針を打ち出した中で、多摩地域で実施している介護保険料・利用料の独自軽減策と在宅で寝たきりの支援を実施するべきであった。子ども医療費の完全無料化は1、615万円で23区と同じ水準になる。少子化対策のためにも実施するべき内容であった。栗原地区の区画整理は、新駅構想の見通しが付くまで、一時凍結するべきであり、都道179号線の歩行者の安全対策を早急に検討すべきであった。

24年度のおもな事業

「健康で元気なみずほ」

生きがいとふれあいのあるまち
・(仮称) 高齢者憩いの場の用地取得および設計業務の実施

「一人ひとりが輝くみずほ」

豊かな心を育むまち
・第五小学校校庭芝生化
一人ひとりが生涯輝ける町
・(仮称) 新郷土資料館の実施設計完了
・「スポーツ祭2013」プレ大会の開催

「魅力ある温かいみずほ」

活力とにぎわいのあるまち
・産業振興ビジョン策定
・町民会館にエレベーター設置

「安心安全やさしいみずほ」

安全に安心して暮らせるまち
・新防災マップ作成
・業務継続計画（BCP）作成

「快適で美しいみずほ」

美しい街並みの住みよいまち
・都市計画道路3・4・12号線整備着手

「総合計画を推進」

連携と協働がささえるまち
・民間企業からの寄付による太陽光発電設備の設置（第四小学校屋上）

会計名	歳入	歳出	
一般会計	132億0,108万6,804円	127億5,149万6,876円	
特別会計	国民健康保険	39億7,776万0,640円	39億2,264万8,893円
	駅西土地区画整理事業	6億4,837万6,589円	5億9,463万2,043円
	下水道事業	9億0,829万0,190円	8億8,706万2,650円
	介護保険	18億4,754万8,323円	18億1,754万4,741円
	後期高齢者医療	4億9,429万1,693円	4億8,945万7,949円
	殿ヶ谷財産区	536万0,262円	450万4,975円
	石畑財産区	4,488万1,552円	4,046万1,721円
	箱根ヶ崎財産区	845万9,556円	687万9,268円
長岡財産区	84万6,399円	54万5,804円	

平成25年第3回定例会は9月2日から20日まで、19日間で開催されました。今回の定例会では、「平成24年度各会計の決算認定」や「瑞穂町副町長の選任」など、合わせて28件の町長提出議案と「垂直離着陸輸送機CV22オスプレイの横田基地配備に関する意見書」および「『森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保』のための意見書」2件の議員提出議案を審議し、すべて原案どおり同意、適任、認定および可決されました。